

開催日時：2003 年 4 月 21 日（月） 13：30～17：45

場 所：大津プリンスホテル 3 階 プリンスホール

参加者数：委員 42 名、河川管理者 24 名、一般傍聴者 296 名

1 決定事項

- 資料 1-3「河川管理者に対する河川整備計画策定時における一般意見の聴取反映方法について（案）」に対して意見のある委員は 5/7(水)までに提出する。

2 審議の概要

テーマ別部会についての状況報告

資料 1-1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」、資料 1-2「テーマ別部会の状況報告（開催状況、主な意見等）」、資料 1-3「河川管理者に対する河川整備計画策定時における一般意見の聴取反映方法について（案）」に基づき、各テーマ別部会の状況報告が行われた。

今後の進め方

資料 2「原案審議の進め方」に基づき、今後のスケジュール等について説明が行われた。“7 月の委員会の審議項目に地域別部会の中間報告”を追加する等の修正を加え、資料 2 に基づく進め方が確認された。この他、「テーマ別部会に提出された意見についても委員全員で共有できるようにして欲しい」との意見が出された。

説明資料（第 1 稿）のダム部分に関する説明

河川管理者より資料 3-1「ダム計画の見直しの考え方」、資料 3-2「川上ダム計画の見直し案説明資料」、資料 3-3「天ヶ瀬ダム再開発計画の見直し案説明資料」に基づき説明が行われた。

それに対し、委員から「環境面について、河川法の改正や提言の理念が十分反映されていないのでは」「ダムをつくるべきか、つくらないのかを議論・判断できる説明を」「代替案の設定、比較が不十分」「委員会でダム計画の是非を判断するためには、バックデータ（ダムの事業費、降雨量等）や検討プロセスの提示（費用対効果の検討、治水以外の面からの検討等）が不十分である」「遊水池、溜池等を活用しダムの規模を縮小するなど、もう少し個別の地域のイメージを持ち、現実的な対応方向を」「本日の資料は検討途中の資料と理解している」等のダムの見直しに関する説明内容や資料の修正や充実・追加を求める意見が多く出された。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 3 名から、「今日のダムに関する説明は“ダムは原則として建設せず・・・”という提言の上に考えられたものではないのでは」「流域委員会の 2 年間の議論を十分反映し、ダムの見直しを行うべき」「ダム建設コスト、費用の分担等を市民にも分かるように明示すべきである」等の発言があった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご覧いただき、会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。